

令和7年第5回庄原市議会定例会

一般質問通告者
及 び
質 問 事 項

9月18日・9月19日・9月22日

質 問 順 位

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 五 島 誠 | 2. 國 利 知 史 |
| 3. 近 藤 久 子 | 4. 岡 野 茂 |
| 5. 徳 永 泰 臣 | 6. 松 本 みのり |
| 7. 谷 口 隆 明 | 8. 福 山 権 二 |
| 9. 吉 川 遂 也 | 10. 堀 内 富 夫 |

庄原市議会

令和7年第5回庄原市議会定例会 一般質問

順位	質問議員	質 問 項 目	ページ
1	五島 誠	長期総合計画について	1
		ゼロカーボンシティの取り組みについて	1
2	國利 知史	上野総合公園周辺の活性化について	2
3	近藤 久子	安心・安全な地域づくりのために	4
		消防車両・消防施設の整備について	5
		庄原市民会館・庄原自治振興センターの更なる充実に向けて	5
4	岡野 茂	自治振興区のこれからについて	7
5	徳永 泰臣	JR芸備線存続に向けて	9
6	松本 みのり	地域公共交通計画づくりについて	11
7	谷口 隆明	被爆80年、被爆県の首長として核兵器廃絶の先頭に	12
		合併20年、自治振興区活動の課題と今後の方向性について	13
		東城子育て支援施設の整備の課題と進捗状況について	14
8	福山 権二	市行政組織の改編について	15
		定員適正化計画の策定について	15
9	吉川 遂也	冬季における市民の安全・安心な生活と地域経済を維持するための、持続可能で効率的な除雪体制の最適化等について	16
10	堀内 富夫	子育て支援策が充実している庄原市を大々的に打ち出すために	18

一般質問日程

9月18日（木） 五島誠・國利知史・近藤久子・岡野茂

9月19日（金） 徳永泰臣・松本みのり・谷口隆明・福山権二

9月22日（月） 吉川遂也・堀内富夫

順位	1	質問者	五島 誠	
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨			答弁を 求める者
1. 長期総合計画 について	現在、八谷市長の政策を具現化すべく、第3期庄原市長期総合計画を策定中であり、あわせて庄原市デジタル田園都市国家構想総合戦略及び第3期庄原市人口ビジョンを策定中のことであるが、その基礎の基礎となる第2期長期総合計画の分析、検証についてどのように成果と課題を評価されているか見解を伺う。 特に人口問題については、具体的数字を含めて、現状と課題、今後の展望を伺う。			市 長
2. ゼロカーボン シティの取り 組みについて	本市では令和6年4月に、庄原市地球温暖化対策計画の追加改訂とあわせて、ゼロカーボンシティ宣言を行い、取り組みをすすめている。 特に、公共施設照明のLED化については、蛍光灯の生産終了と相まって、庄原市公共施設照明LED化計画を策定して取り組んでいるところであるが、出来るだけ早く行うこと並びに財政負担を削減することを目的として、現在の工事発注方式とあわせてリース方式も検討すべきと考えるが見解を伺う。			市 長

順位	2	質問者	國利 知史	
項 目		質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨		答弁を 求める者
1. 上野総合公園 周辺の活性化 について		上野総合公園周辺は、上野池、陸上競技場、食彩館ゆめさくら、桜花の郷 ラ・フォーレ庄原といった本市を代表する大型の施設が揃う場所である。また、中国自動車道庄原インターチェンジからも近く、県内外からの観光客も訪れ交流の拠点でもあると言える。 （１）この場所で計画されていた「子どもたちと多世代の集いの場整備事業」は、前市長の子育て支援策の一つとしての事業であるが、八谷市長はこの事業の見直しについて明言されている。 市長はこの見直しについて市民に説明する必要があると同時に、所信表明では無かった八谷市長の子育て支援策についての方針を、なるべく早い時期に市民に示すことが重要であると感じるが見解を伺う。		市 長 教育長
		（２）2002 年 4 月にオープンした「食彩館ゆめさくら」は、今年で開業 23 年目を迎えた。新鮮な庄原産野菜や特産品が購入できるということで、開業当初から多くのお客様に利用され庄原市の観光スポットの一つとなってきた。 しかし開業 23 年目を迎え、入館者の減少等が進み、さらなる魅力化や今後の方針などを検討する時期に来ていると感じる。食彩館ゆめさくらの現状と課題、今後の方針について伺う。		

順位	2	質問者	國利 知史	
項 目		質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨		答弁を 求める者
1. 上野総合公園 周辺の活性化 について		（３）日本郵便から取得した「桜花の郷 ラ・フォーレ庄原」は、令和４年４月１日にオープンしてから４年目を迎えている。 新型コロナウイルス感染症も終息し、人々が日常を取り戻した現在における、桜花の郷ラ・フォーレ庄原の現状と課題、また今後の大規模修繕や改修の計画について伺う。		市 長 教育長
		（４）本市は合併して 20 年目を迎えている。 合併前から各市町で管理されてきたスポーツ施設については、老朽化が目立つ施設も多く存在する。 今後は老朽化している施設の廃止、集約、新設も含めて総合的に考えていく必要があると感じるが、今後のスポーツ施設の整備方針について伺う。		
		（５）上野総合公園エリアは大型スポーツ施設や温泉などの観光施設が揃ったエリアであり、地元の方々の利用はもちろん、県内外からの交流人口、関係人口を増やすためには重要なエリアである。 それぞれの施設が相乗効果を生み出すような方向性を長期総合計画で示していくことが必要と考えるが見解を伺う。		

順位	3	質問者	近藤 久子	
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨			答弁を 求める者
1. 安心・安全な 地域づくりの ために	あの痛ましい事件が身近で起こり、地域の方々は無念さの中で、二度とこのような事件を起こさないためにどうすればいいのか、繰り返し議論を積み重ねてこられた。庄原市内ではどこにでも見られる地形で、しかも女性の一人住まいも多く、他人事ではない事件である。更に、近年高齢者が特殊詐欺の被害に遭うケースが多くなっている状況もあり、以下の点について伺う。			市 長
	（１） 7 月 30 日に東城支所において「庄原市防犯決起集会」が開催され、危機管理課より市の防犯対策について説明された。			
	改めて、防犯対策についての自助、共助、公助の取り組みについて伺う。			
	（２） 市内全域における効果的な防犯対策としての防犯カメラ設置計画について伺う。			
	（３） 特殊詐欺の被害が甚大である。今年 1 月から 6 月末の広島県内の被害件数は 192 件、被害額 9 億 5,680 万円（前年比約 7 億増）となっているが、被害に遭わないための更なる啓発活動について伺う。			

順位	3	質問者	近藤 久子	
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨			答弁を 求める者
2. 消防車両・消防施設の整備について	消防施設の老朽化が進む現状下で、市が購入している消防車両の更新や配備、また、消防屯所や格納庫の今後の計画的な整備について伺う。			市 長
3. 庄原市民会館・庄原自治振興センターの更なる充実に向けて	2023 年 4 月 1 日、市民会館は芸術・文化の拠点として、また、自治振興センターは地域のコミュニティの推進や生涯学習活動の拠点として大規模改修が完了した。 新築の多目的ホールの残響音対応や雨漏りの改修工事、座席や音響設備を一新した大ホールでは、ステージ下の空調音の低減等、完了後も改修が必要な箇所についての工事が行われてきたが、今後の施設の更なる充実にために以下の点について伺う。 （１）多目的ホールでの作品展示の際、ステージ裏より会場に作品を搬入するために、搬入搬出用の外開きの大きな 2 枚扉が設置してあるが、開いた扉の上に雨除けの屋根が無く、雨天の時には使用が不可能になる状況である。 新県美巡回展の様に、展示期間及び搬出期日が決まっている場合もあり、作品を濡らさない状況を関係者の努力に頼るには限界がある。早急な対応が必要ではないか。また、展示会場としての利用が多い中、会場の照明について検討する旨の答弁があったが、設置に			市 長 教育長

順位	3	質問者	近藤 久子	
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨			答弁を 求める者
3. 庄原市民会館・庄原自治振興センターの更なる充実に向けて	についての計画は立てられているのか伺う。			市 長 教育長
	（２）大ホールでの音響、照明、舞台等のスタッフを養成するため、2023 年より「庄原市民会館ボランティアステージオペレーター養成講座」を開講されている。県大生のバンドを招いてのバンドオペレートワークショップなど、これまでに基礎・基本それぞれの実践版の研修を著名な講師陣のもとで積まれているが、将来的にはその経験を生かして本格的に活躍する人材の組織化が必要と考える。 これまでの成果と今後の方針について伺う。			
	（３）リニューアルした大ホールの貸館は徐々に増加している。特に講演会などではパソコンによる静止画、動画解説が増加しているが、現在はプロジェクターを庄原自治振興センターより借用しており、8,000 ルーメンでは照度が不足し暗い。仮に 20,000 ルーメンのプロジェクターをした場合にはスクリーンに映し出される画像は鮮明であり、会場の照明を落とすことなく客席でメモを取りながら講演を聞くことが可能となる。大ホールには必要不可欠なプロジェクター設置に向けての考えを伺う。			

順位	4	質問者	岡野 茂	
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨			答弁を 求める者
1. 自治振興区の これからにつ いて	庄原市の合併と同時に「自らの地域は自ら つくる」を理念として自治振興区が誕生し、 20 年が経過した。 その間、市行政と協働し各地域で主体的に 自治活動が進められ、住民のコミュニティ・ 地域福祉・防災など各分野において、住民の 安心な暮らしの拠り所として、一定の成果を 上げてきた。 少子高齢化と人口減少が進む地域にとっ て、住民の安心な暮らしを維持発展させてい く自治振興区の役割は、今後ますます重要に なるものと考えられる。 しかし、一方では人口減少により存続が危 ぶまれる自治会や自治振興区が出てくる可能 性もある。 (1) 発足から 20 年が経過した今、自治振興 区の現状と課題及び今後の展望について、市 長の所見を伺う。 (2) 喫緊の課題である自治振興区職員の給 与改正について伺う。物価高騰、賃上げが進 む社会状況の中で、自治振興区職員給与の引 上げが必要と考えるが市長の見解を伺う。			市 長

順位	4	質問者	岡野 茂	
項 目		質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨		答弁を 求める者
1. 自治振興区の これからにつ いて		(3) 少子高齢化と人口減少が進む中、市行政と自治振興区が情報共有を図りながら、これからの自治振興区の新たな役割・今後のあり方・長期総合計画との整合性などについてともに話し合い、これからの10年を展望した活動の指針となる「自治振興区ビジョン(仮称)」を策定する必要があると考えるが見解を伺う。		市 長

順位	5	質問者	徳永 泰臣	
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨			答弁を 求める者
1. J R 芸備線存 続に向けて	J R 芸備線はこれまで、日常生活の移動や県内外からの誘客、災害発生時の輸送手段等として極めて重要な役割を担ってきただけでなく、国土保全などの多面的機能を持ち、都市機能を補充する役割を持つ中山間地域の発展に寄与することで、国全体の活力の維持、発展につなげてきた。 しかし、利用者の減少に伴い、備後庄原駅－備中神代駅の区間の在り方について、再構築協議会が設置され、新たな協議がなされている。 現在、実証事業が行われており、今後、その効果の検証がなされ、今後の方針が出されると思うが、実証事業が始まっている中で、次の事項について、改めて見解を伺う。 （１）現在までの実証事業では、列車の増便や駅毎のイベント等が実施されているが、現在までの実証事業の進捗状況と今後の展望について伺う。			市 長

順位	5	質問者	徳永 泰臣	
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨			答弁を 求める者
1. J R 芸備線存 続に向けて	（２） J R 西日本広島支社長も「乗車した人数より、地域への経済波及効果を見極めたい」と述べている。 乗車やイベントも大切だと考えるが、もっと経済効果や鉄道の持つ価値を高めるべきであり、例えば、ネーミングライツ等の権利ビジネスや J R 芸備線の利用促進のためのふりさと応援寄付金なども考えればと思うが、市長の見解を伺う。			市 長
	（３）国の鉄道に対するスタンスを明確にするため、国土強靱化の観点から、有事の際における物資や人の輸送に欠かせない鉄路であるため、避難訓練などを実施することを国へ要望すべきと考えるが、見解を伺う。			

順位	6	質問者	松本　みのり	
項　　目	質　問　の　小　項　目　及　び　要　旨			答弁を 求める者
1．地域公共交通 計画づくりに ついて	（１）市民の公共交通に対する願いを形にし ていくための地域公共交通計画が、令和７年 度末で５年間の計画期間を終え、新たな計画 へと移行する予定となっている。 現在、次期計画の策定作業を進められてい るが、これまでの計画では、何が出来、何が 出来なかったのかなどをどのように検証し て、新たな計画づくりに活かすのか、また、 ５年後、各地域でどういった変化が見られる ことを目指して計画づくりを進めていかれる のか、新たな地域公共交通計画策定への思い と今後の進め方について伺う。			市　長
	（２）保護者の送迎が無くても、子どもたち が安心して通学出来る環境を整えることは、 子どもたちのためはもちろん、子育て世帯の 市内定住を支え、誰もが安心して暮らし続け られるまちづくりを進めるためにも重要なこ とと考える。 市として現在の高校生の通学に係る課題を どのように捉え、次期地域公共交通計画の中 で、通学状況の改善に向けた取り組みを考え ておられるか伺う。			

順位	7	質問者	谷口 隆明	
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨			答弁を 求める者
1. 被爆 80 年、 被爆県の首長 として核兵器 廃絶の先頭に	政府は、米軍の核兵器使用も視野に入れた「拡大抑止」政策をとり、米軍との共同作戦態勢を強化している。また、「核共有」「核武装が最も安上がり」などを公然と掲げる政党も生まれている。 8月6日の「広島平和記念式典」で、松井広島市長と湯崎広島県知事は、被爆県の自治体の長として核抑止論に明快に反論し、核兵器禁止条約への参加を訴えた。 市長も被爆県の首長として、市民の暮らしと平和を守る立場から、核抑止論に反対し、軍備拡大路線でなく、憲法にもとづく平和外交を強く求めていくべきだ考えるが、市長の見解を伺う。			市 長

順位	7	質問者	谷口 隆明	
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨			答弁を 求める者
2. 合併 20 年、 自治振興区活 動の課題と今 後の方向性につ いて	昨年の 9 月議会でも、自治振興区活動の成果と課題、今後の方向性について質問したが、改めて、以下の点について質問する。 （１）昨年 9 月議会の答弁で、第 3 期の長期総合計画の策定に合わせて、合併 20 年の経過も踏まえ、行政と自治振興区の関係や役割分担など一定の方向性を示すとの考えが示された。 10 年先 20 年先を見据えて、庄原市行政としての考えを整理し、各自治振興区に方向性を示すことが大切だが、どのように取り組むお考えか伺う。 （２） 昨年の答弁で人件費の上昇に合わせて交付金を増額していくとされ、昨年 10 月から給与の一定の見直しが行われた。 しかし、各自治振興区の年々多くなる事務量や責任度合、市行政が強く関係する半ば公的な職場という点から見ても、また何よりも引き続く物価高騰の下では、職員の給与水準がまだまだ低いのではないか。今後、さらに引き上げる必要があると考えるが、見解を伺う。			市 長

順位	7	質問者	谷口 隆明	
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨			答弁を 求める者
3. 東城子育て支援施設の整備の課題と進捗状況について	(1) 2022 年度から東城子育て支援施設の整備事業が始まっている。本年度は用地取得のための事業認可申請を行い、2028 年度供用開始を目指しているが、関係者との協議や事業は予定通り進んでいるのか。			市 長
	(2) 子育て支援にかかわる各現場では、現地での建て替えを求める声強い。その中で新しい用地を求め、子育て支援センター、児童クラブ、帝釈子育て支援センターを「集約」する目的と効果をどのように考えているのか、改めて伺う。			

順位	8	質問者	福山 権二	
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨			答弁を 求める者
1. 市行政組織の 改編について	八谷市政が発足して4か月が経過し、市役所内の変化を感じているが、市長と副市長が交代した今、行政課題の一つとして、市行政組織の改編を検討することが必要だと考える。 6月議会で市長は所信表明をされ、市行政の執行に関する大綱的な考え方を示されたが、市行政の政策推進力を高めるために、市行政組織の改編を検討されるべきだと考える。市長の見解を伺う。			市 長
2. 定員適正化計画の策定について	国内全域で人口減が加速しており、市職員の安定確保もかなり困難な状況にあることから、新たに定員適正化計画を策定する必要があると考える。策定に際しては、各部署の職員が積極的に計画策定にかかわる中で、企画立案されることが重要と考えるが、市長の見解を伺う。			市 長

順位	9	質問者	吉川 遂也
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨		答弁を 求める者
1. 冬季における 市民の安全・安心な生活と地域経済を維持するための、持続可能で効率的な除雪体制の最適化等について	本市は、中国山地の内陸部に位置する地理的特性から、県内有数の豪雪地帯を抱えている。近年の気候変動は、降雪の時期や量に大きな変化をもたらし、短時間での集中豪雪、いわゆる「ドカ雪」のリスクを高めている。 一方で、本市の高齢化率は 44%を超え、除雪作業の担い手不足は年々深刻化しており、従来の除雪体制では市民の安全・安心な暮らしを守り、社会経済活動を維持することが困難になりつつある。 このような状況を踏まえ、市民の命と暮らしを守り、将来にわたって持続可能な除雪体制を構築するため、以下について市長の見解と今後の具体的な取り組みについて伺う。 (1) 激変する気候変動や超高齢化による除雪作業従事者の減少などの複合的なリスクに対し、現状の除雪体制にどのような課題があると認識しているのか、そして、これからの庄原市の除雪事業をどのように進めていくのか、市長の所見を伺う。 (2) 現在の画一的な除雪対応では、限られた人員と機械を効率的に活用しても、市民ニーズに的確に応えることは困難ではないかと考える。群馬県前橋市や新潟県上越市などでは、降雪量に応じて出動体制を変える「段階的除雪計画」や、道路の重要度で優先順位をつける「路線区分」を導入し、大きな成果を上げている。		市 長

順位	9	質問者	吉川 遂也	
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨			答 弁 を 求める者
1. 冬季における 市民の安全・安 心な生活と地 域経済を維持 するための、持 続可能で効率 的な除雪体制 の最適化等につ いて	本市においても、こうした客観的な基準に 基づく計画を策定し、市民に公表すべきと考 えるが見解を伺う。			市 長
	（3）北海道室蘭市などで導入されている「ス マート除雪システム」では、除雪車に GPS を 搭載することで、運行状況をリアルタイムで 把握・管理することができるようになっており、 効果として効率的な配車が可能となり、 住民も除雪状況をリアルタイムで知ることが できることから不安感の解消にもつながって いる。また作業報告の業務量軽減にもなって いる。こうしたシステムの導入を検討されな いか、見解を伺う。			
	（4）2022 年 12 月の大雪では、中国自動車 道の通行止めに伴い、並行する主要地方道庄 原東城線に車両が集中し、大規模な交通麻痺 が発生した 。特に、急勾配と急カーブが連続 する中山峠は、構造的なボトルネックとなっ ており、過去にも繰り返し立ち往生が発生し ている。解決するには、ソフト面の対策と同 時に、具体的なハード対策が不可欠であると 考える。 庄原東城線中山峠の東城町戸宇側、すなわ ち峠の入口にあたる場所に、大型車も安全に 利用できるチェーン着脱所を整備すべきと考 えるが、県と共同し、事業化する考えがない か見解を伺う。			

順位	10	質問者	堀内 富夫	
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨			答弁を 求める者
1. 子育て支援策 が充実してい る 庄 原 市 を 大々的に打ち 出すために	(1) 庄原市では、医療費助成の拡充や入学祝金、子育て世代包括支援センターの運営など、他に劣らない多様な子育て支援施策を展開している。 しかし、子育て世代をはじめ、多くの市民や市外の人々にとって、その全体像や「庄原市が子育てを第一に考えている姿勢」、具体的な支援施策が十分に伝わっていないのではないかと感じている。 もっと市内外にわかりやすく打ち出せる仕組みづくりが必要ではないかと考えるが、市長の見解を問う。 (2) 子育て支援策が充実していることをPRする一つの方策として、「庄原市ふるさと応援寄附条例」に基づく7つの事業区分を、子育て支援に一本化することを提案する。 大分県豊後高田市では「ふるさと納税をすべて子育て支援に充当する」と明確に示し、全国から共感を集めて寄附額を伸ばし、誕生祝い金や各種無償化施策を実現している。 本市においても「子育てを第一に考えて実行している自治体」であると強く発信することで、寄附者の共感を呼び、財源確保と市のブランド力向上の両立が可能になるのではないかと考えるが、市長の見解を問う。			市 長